

1. 本協議会の具体的な取組について

【環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興】

- ◆サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪(仮称) P 1
- ◆サッカー公式試合での交流促進(仮称) P 3

【瀬戸内海の「海」の魅力の発信】

- ◆瀬戸内海国立公園ウォーク(仮称) P 5

【環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化】

- ◆歴史的遺産のネットワーク構築とPR(仮称) P 7
- ◆文化芸術ネットワークの推進(仮称) P 9

【環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承】

- ◆あつまれ「四国のへそ」とくとくフェア(仮称) P11

【協議会での情報発信】

- ◆協議会で実施する情報発信について(案) P13

サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪(仮称) 【環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興】 【愛媛県・広島県】

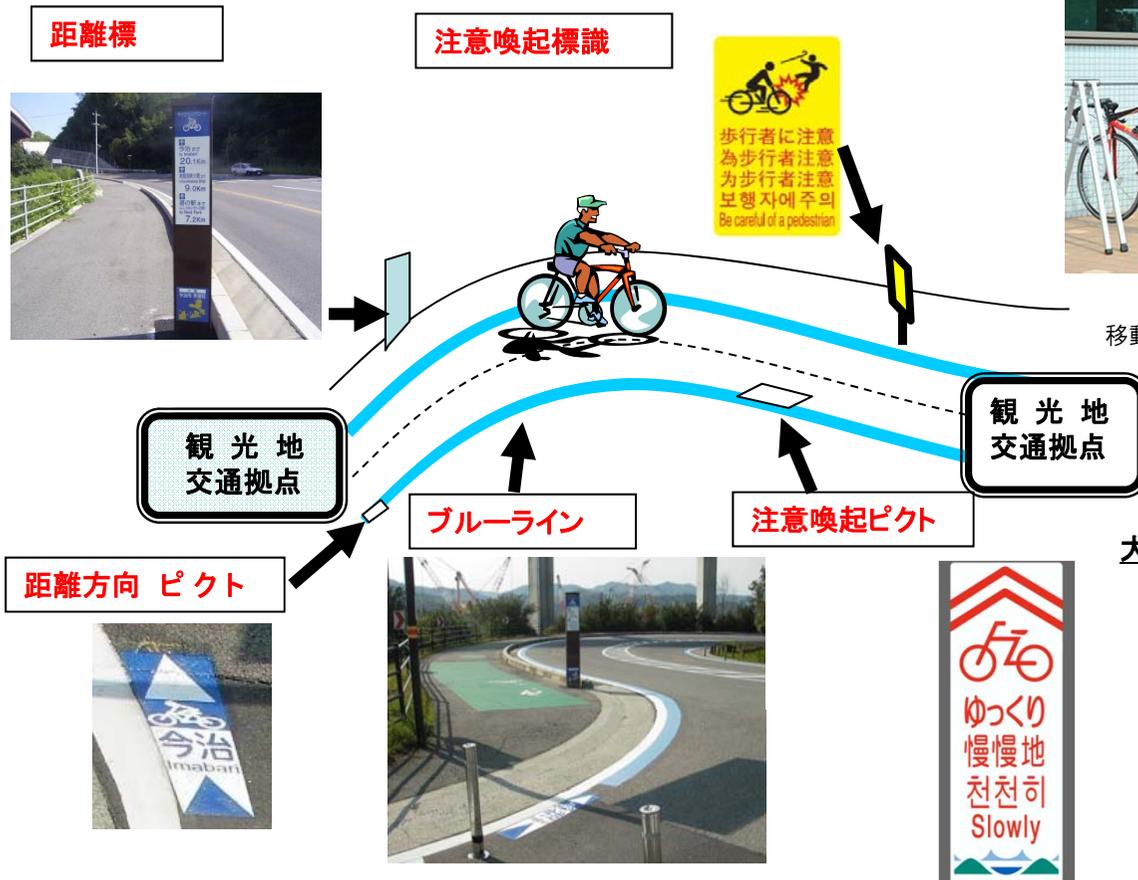
取組の概要

- ①環瀬戸内海地域におけるサイクリングコースについて、統一された規格による整備を推進
- ②快適にサイクリングをしていただくため、利便性向上に向けた取組を実施(サイクルスタンドの設置 等)
- ③サイクリングを中心とした地域間交流を図るため、各種サイクリング大会を提案

①統一された規格によるサイクリングコースの整備

効果:国内外のサイクリストが、迷わず、安全にサイクリング。

整備のイメージ



②利便性向上に向けた取組を実施

効果:サイクリストが、快適にサイクリング。

事業の例(サイクルスタンドの設置)



移動式サイクルスタンドの設置



固定式サイクルスタンドの設置

③各種サイクリング大会を提案

効果:サイクリングを中心とした地域間交流が図れる。

大会のイメージ



【連携取組】サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪(仮称)

<p>取組の概要</p>				
<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H25年度から、愛媛県が県内20市町と連携し、瀬戸内しまなみ海道を中心に、県全体がサイクリング・パラダイスとなることを目指し、県内全域に26のサイクリングコースを設置した「愛媛マルゴト自転車道」施策を展開しており、この取組を、環瀬戸内海圏域に輪を広げ、「統一された安全で快適なサイクリング環境」を整備し、周遊性を高め、観光振興の拡大を図る。 ○安全で快適なサイクリング環境整備のため、ブルーライン、コース案内板、注意喚起標識等を整備。 ○快適にサイクリングをしていただくため、サイクルスタンド、ベンチ等の設置、しまなみ海道自転車道の通行料金無料化等の利便性向上に向けた取組を実施。 ○地域間交流を促進させるため、圏域全体周遊型や中四間連携型、宿泊付などのサイクリング大会を提案。 <p>【以下は、瀬戸内ブランド推進連合の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各県が、地元市町村と連携するなど、風光明媚な箇所等を周遊できるサイクリングコースを選定。 ○サイクリストを広く国内外から呼び込むため、圏域全体のサイクリングマップやイベント情報を掲載したパンフレット等の作成、サービスサイトを開設し情報発信 <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各主体の既存の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛マルゴト自転車道の展開【愛媛県・全20市町】 ・瀬戸内しまなみ海道自転車道の利便性向上（自転車通行料金無料化等） 【広島県・愛媛県・尾道市・今治市・本四高速㈱】 ・海外との姉妹自転車道協定の締結（サイクリストの聖地化） 【瀬戸内しまなみ海道振興協議会・台湾サイクリスト協会】 ・瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会の実施 【瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会】 ・サイクリングの聖地「瀬戸内」の実現のため、コースを選定、マップの作成 瀬戸内ポタリップ（サイクリングガイドブック）の発刊【瀬戸内ブランド推進連合】 ・自転車道サービスサイト開設【瀬戸内ブランド推進連合、各県】 				
<p>取組の内容</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ◇自転車道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸内海地域（兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）における自転車道について、統一された規格（ブルーライン、コース案内板、注意喚起標識等）による自転車道の整備を推進。 ◇利便性向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルスタンド、ベンチ等の設置。 ・しまなみ海道自転車道無料化の継続。 ◇各種サイクリング大会の提案 <ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸内海地域において、サイクリング大会を提案 				
<p>取組内容及び取組主体</p>	<p>H26年度</p>	<p>H27年度</p>	<p>H28～</p>	<p>目標</p>
<p>（ここに記載する取組内容及各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）</p>				
<p>◇統一された規格による自転車道の整備</p>	<p>各県の既存取組を継続</p>		<p>コースの整備促進</p>	<p>○H26～27年度は現在実施中の整備を推進。 ○H27年度中に整備方針・実施方針の検討、各県毎に目標を設定 ○H28年度以降は整備促進を図る。</p>
<p>◇利便性向上に向けた取組</p>	<p>整備方針・実施方針の検討及び決定</p>	<p>各県毎に目標設定</p>		
<p>◇各種サイクリング大会</p>	<p>整備方針・実施方針の検討及び決定</p>		<p>コースの整備促進</p>	<p>○地域間交流を図れる大会を提案。</p>
<p>主担当 副担当</p>	<p>各県でサイクリング大会を提案</p>			
<p>主担当 副担当</p>	<p>愛媛県 広島県</p>			

取組の概要

環瀬戸内海圏域にホームタウンをおくサッカーチーム間の試合において、

- ①対戦相手同士の地域の観光・物産のPR
- ②本四高速を利用して応援に来てくれた観客に対し、記念品を贈呈

①地域の観光・物産のPR

効果:PRした箇所に訪問してもらうきっかけとなる。

イメージ



試合会場で“阿波踊り”をPR



試合会場で宇和島(愛媛県)の観光地をPR

サッカー(公式試合)による交流



②本四高速利用者に記念品贈呈

効果:本四高速を利用したサッカー観戦のきっかけとなる。

イメージ



本四高速を利用してくれた観客に、
記念品を贈呈

【連携取組】サッカー公式試合での交流促進(仮称)

取組の概要	<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環瀬戸内海圏域には、サッカーのJ1チームが3県(兵庫県、広島県、徳島県)、J2チームが3県(岡山県、香川県、愛媛県)にあり、各試合に県内外から多くの観客が訪れていることから、更なる観客の呼び込みを行うことにより、地域間交流の拡大を図る。 ○対戦相手同士の地域の観光・特産のPRを実施。 ○本四高速を利用して訪れた観客を対象に、記念品等の贈呈を企画。 <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各主体の既存の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・PRIDE OF 中四国【岡山県、香川県、徳島県、愛媛県、鳥取県、山口県】 			
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR <ul style="list-style-type: none"> ・試合の対戦相手同士の地域の観光・物産をPRするためのブース等を設け、PRを実施 ◇記念品等の贈呈企画 <ul style="list-style-type: none"> ・本四高速を利用して応援に来てくれた観客に対し、記念品を贈呈。(当面は、PRIDE OF 中四国に対する支援を予定) 			
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目標
<ul style="list-style-type: none"> ◇対戦相手同士の地域の観光・物産のPR ◇記念品贈呈企画 	<p>(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)</p>			<ul style="list-style-type: none"> ○H26～27年度は現在実施中の取組を推進するとともに連携した取組内容を検討、目標を決定する。 ○H28年度以降は、連携した取組を実施
主担当 副担当	愛媛県 広島県			

取組の概要

- 日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施する。
- 各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら、瀬戸内海国立公園により親しんでいただく。
- 国立公園第1次指定日である3月16日に一斉ウォーキングの実施、または各県が別の日に開催し、スタンプラリー等を実施するなどのバリエーションを検討及び調整する。
- 協議会HPで、ウォーキングイベント（既存の取組も含め）についても情報発信する。

既存の取組(事例①)

●屋島ウォーク(毎年3月16日開催)

瀬戸内海国立公園が指定された3月16日に毎年開催。屋島の麓から登り、南嶺～北嶺を縦走、長崎の鼻へ下山。山上からの景観美、ウバメガシの純林、屋嶋城遺構などを見学し、参加者全員で長崎の鼻の海岸清掃も行っている。H22年度から開催、平成25年度は80周年記念行事として岡山県と相互交流し、200名が参加した。



既存の取組(事例②)

●四国のみちウォーク(毎年秋開催)

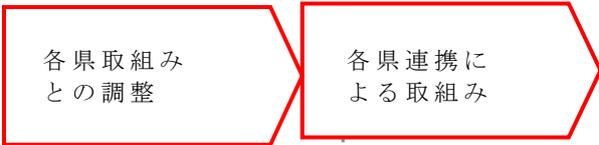
香川県内の四国のみち(四国自然歩道)のうち、瀬戸内海国立公園に指定されている区域があるコースを歩く。瀬戸内海の景観を楽しむほか、コース途上にある香川の保存木や自然記念物などを見学し、歩きながら自然に親しんでもらう。



【参加者のアンケートより】

- ・美しい瀬戸内海を改めて実感し、晩秋を満喫することができた。
- ・個人ではなかなか行けない所に行くことができ、充実した一日だった。次回も是非参加したい。
- ・親子で参加。海あり山ありのコースでリラックスでき、子供もすごく楽しめてよかった。

【連携取組】瀬戸内海国立公園ウォーク(仮称)

取組の概要				
<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施。 ・各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら、瀬戸内海国立公園により親しんでいただく。 ・国立公園第1次指定日である3月16日に一斉ウォーキングの実施、または各県が別の日に開催しスタンプラリー等を実施するなどのバリエーションを検討・調整。 ・協議会HPで周辺の観光情報を発信。 <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <p>○各主体の既存の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋島南・北嶺を歩こう（香川県・毎年3月16日開催） ・四国のみちウォーク（香川県・毎年秋開催） 				
取組の内容	<p>◇瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら、瀬戸内海国立公園により親しんでいただく。 ・第1次指定日である3月16日に一斉ウォーキングの実施。 ・各県が別の日に開催しスタンプラリー等を実施するなどのバリエーションを検討及び調整。 <p>◇協議会HPで周辺の観光情報を発信</p>			
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目標
<p>◇瀬戸内海国立公園ウォーク</p> <p>【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、(高知県※)、中国地整、四国地整 ※高知県は瀬戸内海国立公園の関係県でないため、カッコ書きにより記載</p> <p>◇協議会HPで周辺の観光情報を発信</p>	<p>(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)</p> 			<p>○H26～27年度は各県の取組みとの調整。</p> <p>○H27年度以降、各県が連携して実施。</p>
主担当 副担当	香川県 岡山県			

歴史的遺産のネットワーク構築とPR(仮称) 【環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化】 【高知県】

取組の概要

- 環瀬戸内海地域の現存する木造天守閣やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定。
- 協議会や各県のHP等で広く発信することにより、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。



モデルコースイメージ

全国に現存する12ヶ所の木造天守のうち、6ヶ所が環瀬戸内海地域に残されている。

備中松山城

姫路城



宇和島城

高知城

[モデルルート例①] (神戸淡路鳴門道を活用したルート)

姫路城 == 淡路人形浄瑠璃 == 眉山 == かずら橋 == 坂本龍馬記念館 == 岡豊城跡 == 高知城

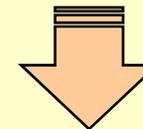
[モデルルート例②] (瀬戸中央自動車道を活用したルート)

備中松山城 == 岡山城(後楽園) == 玉藻城(玉藻公園) == 丸亀城 == 伊予松山城 == 大洲城 == 宇和島城

<取組予定>

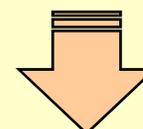
平成26年度

実施方針の検討・各県との調整



平成27年度

取組内容の検討・各県との調整



平成28年度～平成30年度

各県と連携しながら取組の実施

随時更新しながら新しい情報を発信

発信

発信

発信



協議会HP



パンフレット



SNS

(情報発信ツールやスタンプラリー等のイベントの実施については今後検討を行う。)

【連携取組】歴史的遺産のネットワーク構築とPR(仮称)

取組の概要	<p>【取組の概要】</p> <p>○環瀬戸内海地域に存在する現存木造天守を紹介し、それらを巡るモデルルートを設定する。また、現存木造天守やルートの近隣にあるその他の史跡や土木遺産等を併せて紹介することでルートを充実させ、歴史的遺産のネットワークを構築する。</p> <p>○本取組において、協議会や各県のHP、パンフレット等を活用したPRにより、広く情報発信を行い、環瀬戸内海地域内外からの交流人口の拡大を図る。</p> <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <p>○全国に現存する木造天守は12箇所あり、そのうち6箇所が本州と四国の環瀬戸内海地域に存在している。 そのためこれらを巡る本州・四国を結ぶルートの設定が可能であり、交流人口の拡大が見込まれる。</p> <p>○各主体の既存の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四国ツーリズム創造機構による観光情報発信（徳島・香川・愛媛・高知） 様々なテーマごとに主要観光地などを巡るコースを設定し、HPなどで紹介 ・ 四国歴史文化道（徳島・香川・愛媛・高知） 四国内で11箇所の歴史的テーマを持つモデル地域を設定し、主な歴史的文化遺産などを紹介 			
取組の内容	<p>◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸地域に存在する現存木造天守や史跡等を巡るモデルルートを設定 ・モデルルートのマップやパンフレットを作成し配布、また、協議会や各県のHP等で公開することにより広く情報発信を行う。情報発信のツールや、スタンプラリーなどのイベントの実施については今後取組の中で検討を行う 			
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～H30年度	目標
<p>◇歴史的遺産ネットワークの構築とPR</p> <p>【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県</p>	<p style="text-align: center;">（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">実施方針の検討及び各県との調整</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">各県と連携して取組を実施</div> </div>			<p>○H26～H27年度は、各県と調整しながら実施方針や内容の検討</p> <p>○平成28年度以降は各県と連携して取組を実施</p>
主担当 副担当	高知県			

取組の概要

- 様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、並びにモデルルート[文化芸術めぐり(仮称)]の設定により、文化芸術の輪の拡大(etc 高知県北川村のモネの庭⇄直島地中美術館のモネ)
- 本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術のネットワーク化を支援

「文化芸術めぐり(仮称)」

○様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、モデルルートを設定し、環瀬戸内海地域における文化芸術の輪を拡大し、交流人口の拡大を図る。

【例えば、キーワード「モネ」】

モネの庭マルモッタン(高知県北川村)

○モネの想いも含めジヴェルニーにある「モネの庭」を、高知の自然の中で再現した「北川村モネの庭マルモッタン」
(北川村モネの庭マルモッタンHPより)



両施設の紹介並びにモデルルートの設定

地中美術館(香川県直島)

- モネ、デ・マリア、タレルの3作家の作品を恒久展示
- モネが晩年に描いた「睡蓮」シリーズは、絵画と展示空間を一体とするように配慮し展示
- モネが造園したジヴェルニーの庭に植えたとされる草木や樹木を配置した「地中の庭」
(地中美術館HPより)

「せとうち美術館ネットワーク」の充実

○本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、文化芸術ネットワーク化の支援

【せとうち美術館ネットワーク】

- 平成20年10月より、瀬戸内地域の文化芸術面の魅力発信の支援を目的に発足(当初6施設 → 現在53施設)
- 現在、観覧料を実質5割引とする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を実施中



美術館を巡って図書カードをプレゼント!

せとうち美術館めぐり 応援キャンペーン

「せとうち美術館ネットワーク」は、瀬戸内地域の交流促進・活性化を図るため、瀬戸内地域の美術館めぐりを支援しています。その一環として、美術館めぐりでお支払いいただいた文化施設の観覧料の一部を図書カードで還元する「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を実施します。

実施期間
10月1日
～
3月31日

キャンペーン期間中に「せとうち美術館ネットワーク」共通割引券を利用して参加施設を訪問し、**「3施設以上」で「合計2,500円分以上」のチケット半券を集めて応募いただきますと、利用金額に応じた図書カードをプレゼントいたします。**

【連携取組】文化芸術ネットワークの推進(仮称)

取組の概要				
<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、並びにモデルルート[文化芸術めぐり(仮称)]を設定することで、環瀬戸内海地域に文化芸術の輪を広げ、交流人口の拡大を図る。 ○本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用し、環瀬戸内海地域の文化・芸術のネットワーク化を支援。現在、53施設で構成されている「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、文化芸術をキーワードとした環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を広げる。 ○本取組は、協議会・各県のHP等を活用したPRにより、環瀬戸内海地域を中心に広域での広報活動を実施。 <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環瀬戸内海地域には世界に誇れる美や文化があり、そのポテンシャルは高く、これらを有効活用することで交流人口の拡大につながる環境にある。 ○「せとうち美術館ネットワーク」【本四高速・参加美術館, 博物館(全53施設)】 <ul style="list-style-type: none"> ・共通割引券、スタンプラリー、美術館めぐりモデルコース等の実施 ・観覧料を実質5割引程度にする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を実施中 				
取組の内容	<p>◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な着眼点で文化芸術施設等を紹介するとともに、各所を巡るモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」を定期的に設定し、環瀬戸内海地域における文化芸術に関する情報を積極的に発信することで、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。 ・スタンプラリーなどを絡めた記念品贈呈なども検討。 <p>◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施中の「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を拡大。 <p>◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信。</p>			
取組内容及び取組主体	H26年度	H27年度	H28～	目標
	<p>(ここに記載する取組内容及各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)</p>			
◇文化芸術施設のモデルルートの設定紹介	<p>各県毎または連携してモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」の設定 スタンプラリーなどを絡めた記念品贈呈なども検討</p>			<p>○H27年度以降は定期的に施設紹介、モデルルートの設定等を実施。</p>
◇せとうち美術館ネットワーク充実	<p>「せとうち美術館ネットワーク」の充実</p>			<p>○H26下半は、53施設(+6)で展開。観覧料を割引するキャンペーンを実施中。</p>
◇HP等を活用した情報発信	<p>「文化芸術めぐり(仮称)」を積極的に発信</p>			<p>◆対象施設の入場者数○割増</p>
主担当 副担当	<p>高知県 本四高速道路(株)</p>			

取組の概要

- 「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスにおいて、「徳島マルシェ」と各県の「道の駅」自慢の逸品等が参集
- 県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場に「四国のへそ」を活用
- 会場での完結型ではなく、環瀬戸内海地域の各種イベント参加(徳島マラソン、淡路花博他)に、結びつく仕掛けを展開
- 海峡「食のダービー」や「食のおもてなし」など食を中心とした広報事業を実施

あつまれ「四国のへそ」ととくとくフェアの開催

・環瀬戸内海地域(兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)の協力可能な「道の駅」等の自慢の逸品が参集するフェアを開催し、環瀬戸内海地域における食文化の情報発信をするとともに、今年度末に開通する新たな高速交通ネットワーク徳島自動車道の全通効果を実感

【参考】

神戸・鳴門ルートを中心とした連携事業を実施することにより、環瀬戸内海地域交流の促進

連携1

淡路花博2015花みどりフェア

・「淡路まんぷく食堂」「ひょうご五国のめぐみキッチンスタジアム 美食の饗宴」等

連携2

大鳴門橋開通30周年記念事業

・海峡「食のダービー」

マチ☆アソビ
(アニメイベント)



- 各種イベントの集客に、各地域の自慢の逸品の情報発信ができて一石二鳥
- 環瀬戸内海地域で、様々な視点で、情報発信することにより、個人旅行者の需要喚起で、さらに交流人口増
- 継続することにより、注目が集まり、国内外からの集客が見込まれる

【連携取組】あつまれ「四国のへそ」ととくとくフェア(仮称)

<p>取組の概要</p>	<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスに、いつもは徳島市内で開催している「徳島マルシェ」と県内の「道の駅」名産品を一同に参集する。 ○県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場を設ける。 ○会場での完結型ではなく、環瀬戸内海地域の各種イベント参加（徳島マラソン、淡路花博他）に、結びつくような仕掛け（スタンプラリー等）を展開。 <p>【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各主体の既存の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・徳島マラソン2015 1万人規模に拡大【徳島県】 ・淡路花博2015・花みどりフェア 【淡路花博15周年記念事業実行委員会・兵庫県】 ・大鳴門橋開通30周年記念事業【徳島県・兵庫県】 ・四国地区「道の駅」スタンプラリー2013～2014 〃 アイスクリーム選手権 【四国地区「道の駅」連絡会】 			
<p>取組の内容</p>	<p>◇あつまれ「四国のへそ」ととくとくフェア(仮称)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸内海地域（兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）の協力可能な「道の駅」等の自慢の逸品が参集するフェアを開催し、環瀬戸内海地域における食文化の情報発信をするとともに、今年度末に開通する徳島自動車道の全通効果を実感。 <p>(参考)</p> <p>神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海峡「食のダービー」や「食のおもてなし」など食を中心にした広報事業を実施。 			
<p>取組内容及び取組主体</p>	<p>H26年度</p>	<p>H27年度</p>	<p>H28～</p>	<p>目標</p>
<p>(ここに記載する取組内容及各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)</p>				
<p>◇あつまれ「四国のへそ」ととくとくフェア(仮称)の開催</p> <p>【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、中国地整、四国地整(今後調整)</p>	<p>各県の既存取組の集約</p> <p>実施方針の検討及び決定</p>	<p>地域の食文化の情報発信で、交流人口増加を目指す</p>	<p>あつまれ「四国のへそ」ととくとくフェア</p> <p>淡路花博 2015 花みどりフェア</p>	<p>○H26年度末の徳島自動車道の開通に併せて、とくとくフェアを開催し、食の情報発信を推進。</p> <p>○H27年度以降も、兵庫県と連携した取組を強化し、交流人口増加目標の達成を目指す。</p> <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イベント参加者数 ◆徳島自動車道、本四高速交通量
<p>主担当 副担当</p>	<p>徳島県 兵庫県</p>			

協議会で実施する情報発信について(案)

取組の概要

- 協議会サイトを開設し、各種取り組み情報を発信するとともに、関連団体とのリンクにより広域な情報発信
- 取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

協議会サイトの開設

○開設するサイトのイメージは、協議会の紹介、協議会の取り組み、リンク集等により構成

協議会の紹介

協議会紹介、協議会開催状況、協議会資料 等

協議会の取組

テーマ毎の取組を紹介（詳細は関係団体HPリンク）

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

取組例:環瀬戸内マルゴト自転車道(仮称)

(サイクリングコース、イベント等紹介)

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

取組例:瀬戸内海国立公園ウォーク(仮称)

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

取組例:歴史的遺産のネットワーク構築とPR(仮称)

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

取組例:あつまれ「四国のへそ」とくたくフェア(仮称)

リンク集

関係団体HP等へのリンク

取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

○取組毎のイベントカレンダーやイベントマップ等を定期的に作成して情報発信。

- ・取組カレンダー、イベントマップ等は、テーマ毎の担当が中心となり作成、発信する体制を構築
- ・担当する取組を中心に、同時期に実施する他のイベント等の追加情報も発信できるように担当間での密接な連携
- ・より広域的な情報発信のため、インバウンドを意識し、多言語表記なども実施

○情報発信の媒体については、協議会サイト、各県アンテナショップ、SA・PA、道の駅等を活用して積極的に発信



アンテナショップ
(せとうち旬彩館)



SA・PA
(淡路SA)

○情報発信に関する費用負担については、協議会委員からの分担金等により運営する体制を構築